

事業承継事例集 東北版

託す人。託される人。

—— 次世代へのリレー ——



令和4年2月発行
独立行政法人中小企業基盤整備機構東北本部
連携支援部 連携支援課
〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル6階
電話 022-399-9058



この製品は、FSC®認証材および管理原材料から作られています。

経済産業省 東北経済産業局
独立行政法人中小企業基盤整備機構東北本部

事業承継について考えてみませんか。

創業から刻まれてきた歴史、お客さまに愛される商品、

思いを込めたサービス、磨き上げた技術。

そんな企業の財産を、

“託す人”から“託される人”へ、しっかりと次世代へリレーしていくために、

いま一度、「事業承継」について考えてみませんか。

事業承継はどの企業も必要に迫られる課題です。

特に中小企業ではノウハウが蓄積されておらず、

重くのしかかる問題ともいえます。

この度、発刊したこちらの事例集は、

多くの方に事業承継の方法を知っていただくためのものです。

東北地方でも、事業承継によって、地域に経営資源を残しつつ、

新たに価値を生んでいる好事例が数多くあります。

事業承継には、親族内承継、従業員承継、

M&A（第三者承継）がありますが、

企業によってその内容・方法はさまざまです。

準備は早いということはありません。

その時をいつ迎えても、バトンを渡す準備さえできていれば安心です。

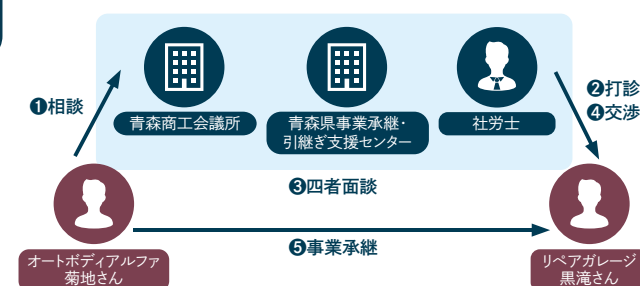
この冊子を手にとっていただいたときから、事業承継はスタートです。

さあ、はじめましょう。

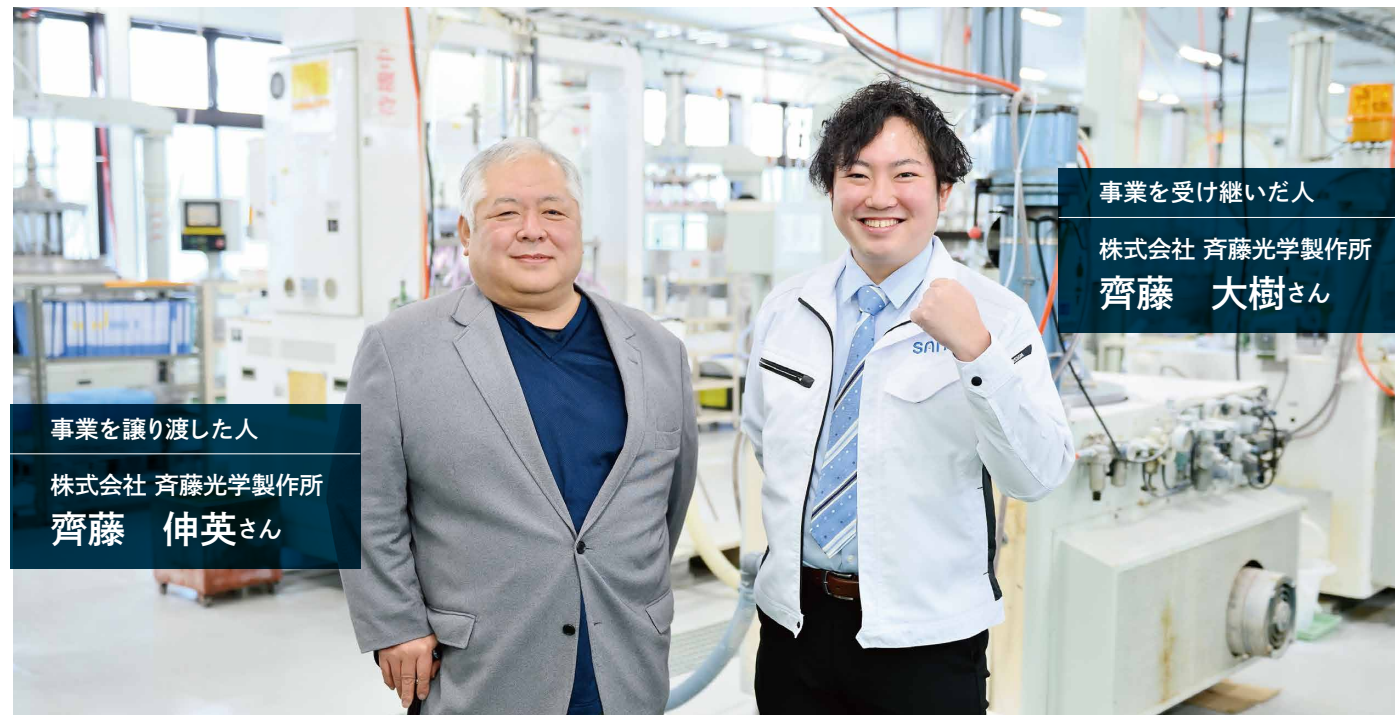
次世代へのリレーに向けて。

事業承継の流れが 簡単にわかります！

各事例の左ページ下に、事業承継の流れをわかりやすくまとめています。相談先や取組みの様子が一目でわかりますので、ぜひご参考にしてください。



日本一働きがいのある会社を目指して。 父から息子へ事業承継を実現。



事業を譲り渡した人

株式会社 斉藤光学製作所
齊藤 伸英さん

事業を受け継いだ人

株式会社 斉藤光学製作所
齊藤 大樹さん

高度な表面研磨技術で、先進材料加工の多彩なニーズに対応。

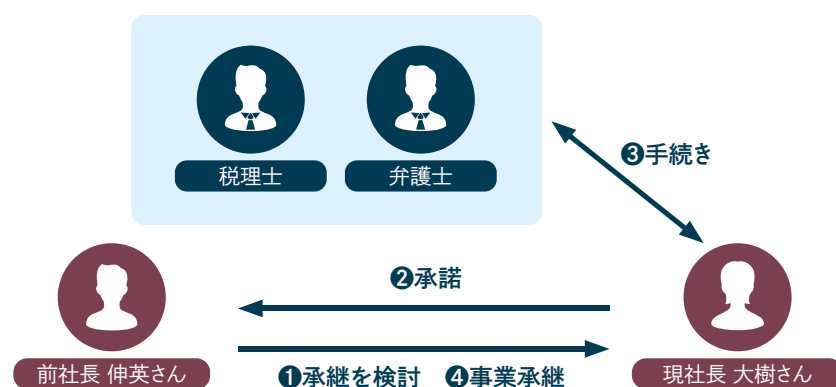
1977年設立の「株式会社斉藤光学製作所」は高度な表面研磨技術により、受託加工からコンサルティングまで、先進材料加工に関するトータルソリューションを提供しています。「お客様には加工精度の高さを評価いただいており、この業界では珍しく、工場でお客様と一緒に実験することもあります」。そう話すのは、同社の代表取締役・齊藤大樹さん(33歳)です。

大樹さんのお父様であり、前代表取締役の齊藤伸英さん(60歳)は、50歳頃から事業承継を考えていたといいます。「私も33歳で会社を引継いだのですが、若い経営者の元には若い従業員が集まりますし、社会の変化に柔軟に対応できるようになると考えていました」。

→ 事業承継の流れ

親族内承継

父と息子がそれぞれの思いを実現するため、早期の親族内承継を実施



- ①10年ほど前から承継を検討
2017年大樹さんの入社を機に
大樹さんへの承継の検討開始
- ②2018年 役員就任を機に事業承継を承諾
- ③大樹さん、税理士、弁護士が
中心となって手続きを進行
- ④2021年9月 大樹さんが
代表取締役に就任し、事業承継

経験を活かそうと秋田にUターン。
事業承継に向けて活動を本格化。



「自分の足で人生を歩みたいと、会社を継ぐ気はありませんでした」と振り返る大樹さんは、大学卒業後、上場企業の化学メーカーに入社し、東京で勤務していました。「そこで経営に携わったことで、斉藤光学製作所はどうなっているんだろう? この経験が活かせるのでは? と考えるようになり、2017年に弊社に入社しました」。

2018年には、承継時の税負担を軽減する事業承継税制が拡充されたこともきっかけとなり、大樹さんが役員に就任し、事業承継の手続きを本格的に進めることになりました。

前社長による長年の人材育成のおかげで、
事業承継が円滑に進行。



大樹さんが「事業承継と構えることなく、業務の一部として粛々と進めました」と話す通り、斉藤光学製作所では大樹さんと税理士、弁護士を中心に、大きな問題もなく株式譲渡の手続きなどを進行。2021年9月、大樹さんが代表取締役に就任しました。事業承継が円滑に行われた理由について大樹さんは「父が会社の核となる人材を何人も育て、会社の状況がわかる人間が多くいたので順調でした。ワンマン経営の場合、事業や財務状況を社長しか把握していないので引継ぎが大変だったと思います」と答えました。

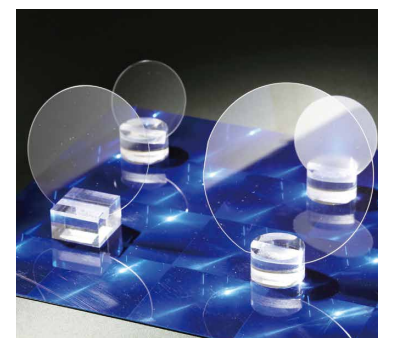


また事業承継までの1カ月間、大樹さんは従業員全員と個人面談を行い、フォローアップに努めました。「一人ひとりに自分が承継した後の経営ビジョンを伝えることで、不安を解消し、目標が共有できましたね。さらに全従業員をホテルに集めて『事業承継式』を開催しました。会社の変化を体感することで、社内の空気も新鮮で前向きになりました」と大樹さんは説明しました。

事業承継後の資産やライフワークなど、
中長期の備えが大切。

現在、大樹さんが注力していることの一つが社内体制の強化です。「父が事業を拡大しましたが、その成長に組織の成長が追いついていないと感じています。5カ年計画で平均年収18%アップを目指す働き方改革もその一つで、『日本一働きがいのある会社』が目標です」。さらに大樹さんは従業員の自主性を引き出すために社内向けにYouTubeを配信。また、地域活性化を図るために行政や企業、教育機関と連携するなど、多彩な取り組みに励んでいます。

お二人に事業承継のアドバイスを伺うと、大樹さんは「信頼できる仲間を社内に作っておくことだと思います。私は技術や営業の経験がないことが不安でしたが、仲間に助けられて引継ぎを進められました」と話し、伸英さんは「譲る側は、承継後のことを考えた中長期的な準備が大事です」と口にししました。「譲る側の承継後の資産やライフワークがないと、会社を譲ることはできません。そのために副業を持っておくのも手ですね。私はこれまでの経験を活かしたセミナーやワークショップ、地域のPR活動などを行っており、好きなように楽しくやれています」。そう伸英さんは、満面の笑みで話してくれました。



Information

株式会社 斉藤光学製作所

住所: 秋田県仙北郡美郷町本堂城回字若林118-3 電話: 0187-85-3300

URL: <https://saito-os.com>

事業内容: 先進材料の受託加工(外径加工・研磨・洗浄)、
技術サービス(受託評価・試験・研究、加工コンサルティング、研磨関連資材・装置販売)
沿革: 1972年創業、1977年会社設立、2021年9月事業承継

●高度な表面加工研磨技術を活かし、ニーズに応えるトータルソリューションを提供